

# まんさく

第279号

発行  
特別養護老人ホーム光寿苑  
まんさく編集委員会  
和賀郡西和賀町湯本30-76-1  
TEL 0197-84-2526  
koujhu@fancy.ocn.ne.jp  
題字 元理事長 太田 祖 電

お年寄りファーストと感染防止優先の狭間で



しばらく間近で会えなかった時間…。オンラインでは感じ得ない、息づかいや空気感は格別です。どうか大切な時間、お過ごし下さい(^\_^)

対面会、始めました

お年寄りのご家族の皆様、お待たせ致しました  
《約6カ月ぶり 令和4年7月1日再開》

久々の自宅で家族写真

この日がくるのをどれだけ待ったことが♡  
《こちらにも 令和4年7月1日再開》



久しく出向けなかったご自宅で、大切な家族の時間が帰ってきました。  
久々過ぎてお疲れにもなると思いますが、ぜひ、この機会を♡



光寿苑の新しいお仲間  
をご紹介いたします♪

柏崎サトさん

\*西和賀町

\*昭和のお生まれ



『共生の場』  
へようこそ♪

おかげさまでした

ご寄贈

★=光寿苑、☆=ひなたぼっこ

- ★ 五十嵐 一雄 様 [湯之沢]
- ★ おおしま商店 様 [湯本]
- ★ ☆西和賀町婦人連絡協議会 様
- ☆ 高橋 ちづ子 様 [下前]
- ☆ 高橋 康文 様 [新町]
- ☆ 佐々木 里子 様 [北上市]
- ☆ 菅原 康悦 様 [滝沢市]

面会

[6/1~6/30]

- ★入居者家族 等
- 【看取り期対面】 … 延べ25名
- 【窓越し面会】 … 延べ13組
- 【オンライン】 … 延べ 3組

訪問

- ひなたぼっこ運営会議 (6/29)
- ☆ 運営推進会議委員 9名様

光寿会へのご支援

はやかわ せいこう

早川正剛さん (西和賀町)



- \*光寿会理事 (H元年12月~H29年3月)
- \*光寿会評議員 (H29年4月~現在に至る)

岩手県社会福祉法人経営者協議会会長表彰

★防災訓練★

通報・避難訓練

6月15日

消火訓練

6月23日



久しぶりに触る消火栓の操作に緊張感あり！また土砂災害を想定した「垂直避難」等も実施した。



第60回

不定期シリーズ

# 地域の窓

去る6月12日、まんさく『災害を捉える』で一年間寄稿下さった大阪の松岡由美先生より、『暮らしと心を守るためにできる事』と題しまして碧祥寺本堂にてご講演賜りました(^\_^)

過度な危機管理で排除が起こっていないか？



私は今、精神障がいをお持ちの方の支援に多く携っている。若年性認知症のシンゲルマザーの支援にあたる事がある。在宅で頑張ってきたが、症状進行して施設入居の運びとなり、高校生の娘さんとは離れて暮らす事になった。

そんな中、命を考える福祉系の研修会もあり、そこにその娘さんも来てい

た。私は講師と面識があり、娘さんの意向を聞いて、講師とお話の場を設けた。娘さんが「私のお母さん、認知症で」と言ったとき、泣いて喋られなくなった。講師は何も言わず、泣き止むまで待つてくれた。泣き止んだ頃、こう語った。

「貴方の母親は以前の母親とは変わってしまった様に見えんかも知れない。でもね、貴方を愛する心だけは変わらないうて事だけは覚えておいてほしい。」



★苑内研修★

## 感染対策オンライン研修

6月17日



- ① コロナを理由に事業を停めない事。
- ② 当法人の特養でも、対面会の制限を2年間しなかった。かわりに家族にも普段の生活に十分注意して頂く。その上に万全の対策を講じて面会を実現してきた。「会いたい」を重視。
- ③ 過剰な防衛反応が不安と恐れとなり、管理と排除を生む。必要なのは人権意識。人を思いやる心でケアを。
- ④ 利用者を本当に守るのは面会謝絶よりも、面会をいかに実行するか。

～管理職の立場の職員対象の研修。松岡先生より、感染対策の考え方に人権意識のエッセンスを注入頂きました！～

「人権意識」を持ったケアを！

# 令和4年度 光寿会法人キーワードは「続・知る」

【生活】「⑥介護部門…大通り」 ☆菊池直樹☆

令和3年度下半期 下半期 イメージ	テーマ	続・個別ケア	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		お年寄りの想いに添ったケア	介護技術の向上
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①面会時(オンライン等)、ご家族との会話の中で、もっと本人を知る。 ⇒関わる際の注意点等を知る事で、想いに添ったケアができるようにしていく。 ②現在の状態を伝えていく。 ⇒気軽に会えない時だからこそ、情報交換を大切にする。	①個々に合った介助方法の探求 ⇒状態や成果、課題等の情報共有を密にし、より良い入浴方法や食事の際のポジショニングの方法を探していく。	



令和3年度を振り返って	法人キーワードに対して	※ 排泄パターンや食事の様子など、その方の特徴を掴んでよく知り、情報を共有してよく相談し、安心な暮らしに繋がられているとお年寄りがいることが良かった。	
	テーマに対して	※ コロナ禍が続き、買い物・ドライブ・散歩に出ることが気軽にできない現状。制限がある中で楽しみを見つけるのは難しいが、残存機能の維持を目的とした「生活の中でのリハビリ」を楽しくできたと思う。	
	各目標等に対して	【目標①】 ※相談員からも働きかけてもらい、遠方に住むご家族と様々な形で面会〔オンライン、対面、窓越し〕できた方がいた。続けていきたいし、まだできていない方もいるので、これから行えるように努めた。	【目標②】 ※どのようにすれば「より安全な移乗ができるか」を相談しあい、環境や使用器具の見直しができ、介護技術の伝達も行えた。 →今後も事故の無いように気をつけながら、続けていきたい。



法人キーワード	令和4年度共通のキーワードは『続・知る』		
令和4年度上半期 上半期 イメージ	テーマ	続・個別ケア	
	理想像	目標 ①	目標 ②
		お年寄りの想いに添ったケア	介護技術の向上
具体的な取り組み (いつ、何を、どのように)	①一人ひとりをもっと知る ⇒ふとした言動、ご家族との会話などからもっと本人を知り、想いに添ったケアができるようにしていく。 ②今を伝える ⇒気軽に会えない時だからこそ、情報交換を大切にし、疎遠にならないようにしていく。	①個々に合った介助方法の探求 ⇒状態や成果、課題等の情報共有を密にし、より良い入浴方法や食事の際のポジショニングの方法を探していく。 ②基本があつての応用 ⇒なぜ、こういうやり方をしているのか？ なぜこのやり方だとまずいのか？ 一つ一つの動作に責任を持ち、説明できるようにする。	



# 想... 災害を捉える ~北海道から発信します③~

## 『自分を知る』... 真宗大谷派教証寺・寺澤三郎 さん

光寿会理事長と大学時代の同期生。災害の根本には人間の煩惱が関わっている。そのような視点を踏まえてこのコーナーをご依頼しております。この度、3度目のご発信です(^\_^)

### ③ 自分を知る

物を知ろうとする人は多いが、自分を知ろうとする人は少ない。物を知ったつもりになっている人は多いが、自分を知っている人は少ない。

私たちは、人生を幸せに生きていくために多くの物事を知ろうとします。そして、天災・人災を含めた人生の多くの出来事に対しては、培ってきた知識や経験で乗り越えようと頑張って生きていくのです。ですから私たちは、「知識や経験は人間を豊かにしていく大切なものである」という事を信じて疑いません。一方で、それに縛られるがゆえに見失っている事があるわけですね。

アメリカのコメディアン、ジョー・ジカリーン氏が最愛の妻と死別した際、ある牧師の言葉を引用して書かれた「この時代に生きる私たちの矛盾」という文があります。人生を学んではいけない。

天災・人災に襲われ続ける時代にあって思い通りにならない世を生きる視点

▽ 沢山お金を使ったほうがいい世を生きる視点  
ものはいくつか、沢山物を買ってはいくつか、沢山物を買ってはいくつか、沢山物を買ってはいくつか。

▽ 家は大きくなったが家庭は小さくなり、より便利になったが以前よりも時間がない。

▽ 世界平和の時代と言われるのに家族の争いは絶えず、レジャーは増えても楽しみは少なく、沢山の食べ物に恵まれても栄養は少ない。

▽ 長生きするようになったが、長らく今を生きていない。

知識や経験や感覚をもとに人生の豊かさや幸せを求めていく私の方が、本当に自分を満足させていく事には繋がりにくく、反対に矛盾していくという事を見事に言い当てている言葉の数々です。

最愛の妻との死別を経験したジョー・ジカリーン氏は、これらの事に気づき、日々の生活の中で忘れてはいけない事を次のように記しています。

▽ 忘れないうでほしい、愛する人と過ごす時間を。なぜならその

### 寺澤サボロー

3.11以降、何度と岩手の地を訪れ、課題を探求している。



人たちは、永久にあなたの周りにいるのではないから。

▽ 忘れないうでほしい、すぐそばにいて人を抱きしめることを。あなただけが与えることのできる唯一の宝物で、一冊もかからない。

▽ 愛し、話し、あなたの心の中にありかけがえない思いを分かちあおう。そしていつも心に留めておいて。

▽ 人生はどれだけ呼吸し続けるかで決まるのではない。どれだけ心ふるえる時間があるかだ。

ジョー・ジカリーン氏の文章から、物知り顔の私を教えられると同時に、今の私自身の有り様を知る事の大切さ、また知ろうとする事の大切さが教えられます。

△ 次号へ続く

今月の登録者の方々  
12名様です♪



「お茶会、浅舞公園へ」

毎月第3日曜日開催のお茶会。サービ  
ス登録者以外の地域の皆さまが集っ  
てひなたぼっこ体験&活動中です。



2022/06/19 10:27

第2回『運営推進会議』(6月29日)

△外部委員9名、職員4名▽

委1 現在の登録定員18名に對し13  
名(6月29日時点)というよりは、  
他に希望者が居ない事なのか？  
あるいは現状の人数から増やせ  
ない理由があるのか？

職1 色々声掛けしているところだ  
すが、サービス利用までには結  
つかないのが現状です。

職2 小規模多機能型の仕組みだと  
18名登録のラインが黒字赤字の  
ボーダラインになります。こ  
れまでの実状と職員体制も勘案  
して定員を下げましたが、さら  
に△5とになると経営的には危  
な水域と言えます。

委2 どのように対処すべきか？

委3 私どものデイサービスでも、

455年前と比べると△100△200

ほど減少となっている。人口減

少もあるが、介護認定を受けて

いてもサービスを利用しない方

もいるとのこと。地域サロンや

高齢者の会合、一人暮らし交流

会等に足を運ば、サービス利用

希望等聞きとりをしている。地

道な努力しかないと考える。

委2 私の方では、相談支援を担

たが、サービス利用の有無にあ

たっても、根底には経済的負担

があるようだ。特に食事代。食

事代ぐらいいやっても積み重ね

ると大きな負担になるし、少な

い年金からだとな食事は削りに

いので、結果、サービスも見合

あせるとなっている事もある。

職2 小規模多機能は包括型のため、

1回の利用でも30回の利用でも

月額定額と違って万単位の

負担となってしまう。制度

上の事なのですが、利用される

方々の側からすれば、多く掛か

る印象も強いと思います。

委2 物も油も何でもかんでも上

っている中、難しい課題。

委4 配食サービスには、財政補助

等ないものか？

職2 所の補助があり、今年も単価

改訂も行われました。補助が一

件10円上がりしましたが、同時に

本人負担が15円も上がりました。

こちらはこちらで、利用者が伸

びなくなっております。

委2 母体である光寿苑入居者の中

にはひなたぼっこ元利用者もい

る。一体的運営を考える必要有



関わる人たちを明るくした癒しの存在感



### 加藤キンさん【97歳】

可愛らしい雰囲気、自然と人を惹きつける方でした。  
笑顔がとてもステキで、優しくてね。時には厳しく私  
たち職員に接して元気付けてくれたと思っています。  
今まで、ありがとうございました。

《高橋太樹》

『今生より  
往く』

第104回

104回目は、家族会役員さんによる恒例・苑周りの草刈りと、再開した対面の面会に関するお知らせでございます。



元気です！家族会♪

#### 【対面会の要件 … 令和4年7月1日付】

- ① 1度に4名までOK [町外県外縛りなし…万全の体調管理の上、ご来苑下さい。]
- ② 1週間に1回のサイクル、15分、マスク着用、一緒のご飲食はお控え願います。
- ③ 入居のお年寄りから見て親しい知人もOK [但し、身元引受人様を通してご予約を!]



